

森のおくりもの11月



メジロ (メジロ科)



観察の森の樹々にたくさんの木の実がなり、それを目当てにする野鳥たちが活発に動き始めました。先日、森を巡回していると、アケビの実に何羽ものメジロが集まっていました。少しついでには飛んで行き、別の子が間髪入れずにやってきます。その様子はまるで順番待ちをしているか、譲り合っているかのようで、いろいろと想像しながら眺めていました。

閑話休題、観察センターの近くにも立派なアケビ実っており、観察会で案内するのにちょうどいいね、と職員同士で話をしていました。巡回の時に確認したところ、ほとんどもぎ取られて無くなっていました。人目につく場所だったので仕方がないとは思いましたが、なんとも残念です。森のめぐみの恩恵を受けるのは人間を含む様々な生き物たちですが、この森での順番は人間が一番最後でもいいのかなと思っています。 【写真・文 近藤晋也】

森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

『千古不易（せんこふえき）』

朝晩冷え込むようになり、どんどん冬が近づくのを感じます。10月は秋晴れのイメージを持っていましたが、今年は雨や曇りの日が多くて秋晴れの日が少なかったような感覚があります。梅雨も秋雨も両方の時期で降水量が多かったように思いますが、例年よりも台風が少なかったため、その分を考えれば雨量はそれほど変わらないのかもしれませんが。台風が平年並みに来ていたら、洪水などの災害が心配されたので、その点はよかったです。

森が雨で潤うとキノコが際立ちます。キノコは毎年同じ場所に生えるといいますが、昨秋生えた切り株から今年も発生するのか、経過を観察しました。雨の降り方や気温などの条件が昨年とは違うし、生え方も違うのではと予想していたのですが、昨年とほぼ同じように出現していたのに気づいて驚きました。

自然は一部分や短い期間で見れば様々な変化があるのですが、大まかに長い期間で見ればほぼ同じようなものと考えられるのではと思いました。『千古不易』という言葉があります。「ずっと昔から永遠に変わらないこと。永遠の価値を持っていること。」という意味で、千古不易の大自然とか千古不易の自然の営みなどと使います。自然には調整力や回復力があり、何か変化があっても元に戻るようになっていて、一つの個体としては全く同じものは一つもないけれど、同じようなものはたくさんある。同じものではないけれど元通りになる。そんな不思議や哲学が自然にはあると感じます。

キノコは森がいつまでも変わらず森であり続けるための役割を担っているものの一つです。分解者であるキノコのおかげで森が持続できているといっても過言ではなく、小さいけれど大きく貢献しています。【レンジャー：新田隆一】



11月の生物ごよみ

【植物】 太白山周辺で最後に咲く『キッコウハグマ』は10月15日に開花を確認しました。昨年とほぼ同じ開花日になります。秋の花『リンドウ』は『みはらしの道』付近で10月30日に綺麗な花を咲かせていました。それぞれ11月上旬まで見る事が出来ます。

【紅葉】 10月下旬くらいから少しずつ色づき始めていますが、11月中旬が見頃になる予想です。昨年と比べ1週間くらい遅い感じです。

【ドングリや木の実】 ドングリは昨年以上に不作です。クリもあまりよくありませんでした。他の木の実『ムラサキシキブやヤブムラサキ』などもほとんど実をつけていません。野生動物の食糧事情が心配です。

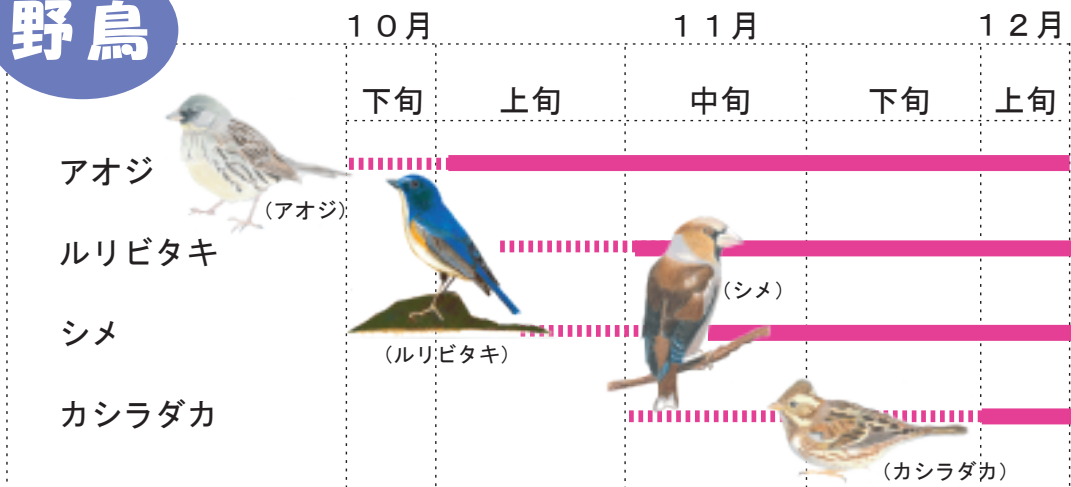
【野鳥】 冬鳥の一番手ジョウビタキは10月27日に目視で確認しました。アオジもセンター周辺で確認出来ました。他の冬鳥たちもこれから少しずつ入ってくるでしょう。

【昆虫】 今年はなぜかイカリモンガがたくさん目につきます。イカリモンガは蛾といっても昼間に蝶のように舞う綺麗な蛾。10月末にシロヨメナに数匹群がっているのを確認。イカリモンガは成虫で冬を越します。

【キノコ】 今年はツキヨタケがたくさん出ました。奥山では普通に見られるキノコですが、この森では今まではあまり見られなかったキノコです。美味しそうに見えるけど猛毒なので絶対食べないように！

【野生動物】 周辺ではツキノワグマの情報が多いようですが、ここ観察の森に関してはほとんど確認されていません。いつもは5月中旬から11月下旬までセンサーカメラに夜間撮影されるのですが、今年は6月に1回だけでした。イノシシに関しては相変わらず活動している様子ですが昨年よりも少ない感じです。食糧事情でエリアを変更したのでしょうか？

野鳥



【レンジャー：齋 正宏】

森の「おとしもの」



「野鳥の声が降ってくる」

秋が深まり朝夕めっきり冷え込んでセミの声も消えコオロギの仲間の声もか細くなって、代わりに鳥の声があちらこちらで目立つようになりました。

野鳥好きの人の中には高い所で鳴いている野鳥の声に耳を傾け「〇〇の声が降ってきた」と言う人もいます。自然観察の森では、どんな声が降っていたのかというと…

30～40羽程の小鳥の群れが頭上を舞い、“チュイーン”という声が降ってきました。逆光でシルエットですが一瞬黄色く光り、マヒワの群れでした。

頭上の林からパキッパキッと何か割るような音と共に“キョッキョ”という声。スズメよりも大きく双眼鏡その姿を確認すると、数羽のイカルでした。大きくて丈夫なくちばしで何かの種を食べていたのかもしれませんが。

イカルといえば、センター周辺の林で今でも時々“キーヨコキーコ”とさえずっているイカルがいます。先日もそのさえずりが聞こえて…「あれ？変だな。すこし違った音色になった…」と続いて“ギチギチ、キーー”との声。モズでした。モズは百舌鳥と表わされるくらい物まねの上手な鳥で、時折だまされます（笑）。

もう少しすると冬越しのため北からルリビタキやベニマシコなどの冬鳥がやって来るでしょう。

暖かい身支度で、コロナ対策をしっかりとして、青い鳥や赤い鳥を探してみたいかがでしょうか？

【レンジャー：木田秀幸】



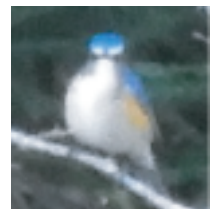
マヒワ（アトリ科）



イカル（アトリ科）



モズ（モズ科）



ルリビタキ
（ヒタキ科）

森は糸



森は布

森は様々な生き物が互いにつながって森として生きているんですね (*_*)

秋は種子の旅立ちの時、移動できない植物は、子孫を残すために様々な方法で種子を散布します。散布の方法は様々ですが、ここでは自ら種子を発射させる「自動発射装置!？」をもったすごい植物を紹介します。(^^♪



ゲンノショウコの花です。中央のめしべの周りをおしべが囲んでいます。

赤い花びらのものも見られます。



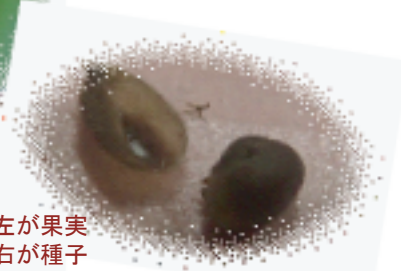
花が終わるとめしべ（花柱）の下部に果実（実）ができていました。



カールしている髪の毛みたいで可愛いですね。その姿からミコシグサの別名があります。



下部の果実は、花柱につながっています。果実の袋を割いてみると中に種子が1個入っていました。



右図、左が果実の袋、右が種子

乾燥すると下部の袋が花柱の筋に沿ってめくり上がり、袋の裂け目から種子が勢いよく飛び出す仕組み。昔の戦で石を包んで飛ばす機械とそっくりな気がしますね。(^^♪

こんな面白い方法で種子散布を行っていたんですね。移動することのできない植物の「知恵」にはびっくりさせられます。ゲンノショウコの他にも、ツリフネ、コクサギ、マンサクなど実の中の圧力を高めたり、乾燥による収縮を使ったりして様々な種子を飛ばす植物があります。苦労して飛ばした種子が芽生える環境が森にあることは幸いです。(^^♪【レンジャー：菅原 幸彦】



11月のイベント&お知らせ

◆『晩秋の蕃山トレッキング』11月21日(土)9:30～15:00

・観察センターを飛び出して近隣の森『蕃山』を専門講師の解説を聞きながらゆっくり歩きます。

【定員】15名(小学生以上)

【持ち物】昼食、飲み物、帽子、雨具(カッパ)、歩きやすい服装と靴で

【申込み】往復はがきに①住所②氏名③年齢④電話番号を記入の上11月10日(火)必着〔一枚で一家族3名迄応募可能、申込み多数の場合は抽選〕

【集合場所】茂庭台市民センター前

(連絡は太白山自然観察センター ☎022-244-6115までお願いします)



◆新型コロナウイルスの感染拡大や天候の急変等でイベント中止・短縮の場合があります。

毎週
日曜は

『ガイドウォーク』の日!

11月は1、8、15、22、29日です。

開催時間:10:00～11:30
13:30～15:00



今月のガイドウォークのテーマは
『晩秋の森の楽しみ』

申し込み不要。時間までセンター前にお集まり下さい。

11月の休館日

2日(月)

9日(月)

16日(月)

24日(火)

30日(月)



宮城交通バスの場合

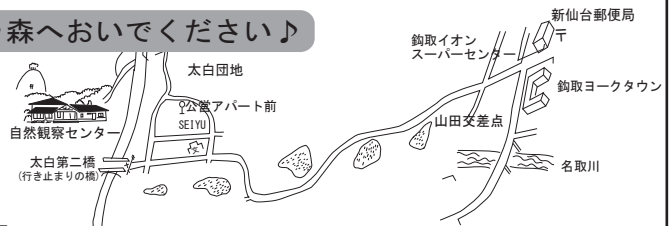
- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
 - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
 - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地經由山田自由ヶ丘車庫行」乗車
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘經由山田南ニュータウン行」)
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分



お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、
「森のおくりもの」バックナンバーは
Webで!

2020年11月号(毎月1回5日発行)

発行:(公財)仙台市公園緑地協会

編集:仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター
〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

TEL: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>